

# 世界に 発信する 富山の ガラスアート

富山市ガラス美術館  
10周年記念シンポジウム

11/9 Sun  
14:00

TOYAMA キラリ  
9階 キラリホール

定員 | 280名

参加料 | 無料

主催 | 富山市（富山市ガラス美術館）  
一般財団法人自治総合センター

後援 | 総務省

申込 |  こちらのQRコードから  
お申込ください。  
(応募者多数の場合抽選)

富山市ガラス美術館は2025年8月22日に開館10周年を迎えました。

10周年を記念して、これまでの美術館の歩みを振り返るとともに、  
これからの地域活性化に向けた、ガラス美術館に期待される役割に  
ついて話し合うパネルディスカッション形式の記念シンポジウムを  
開催します。

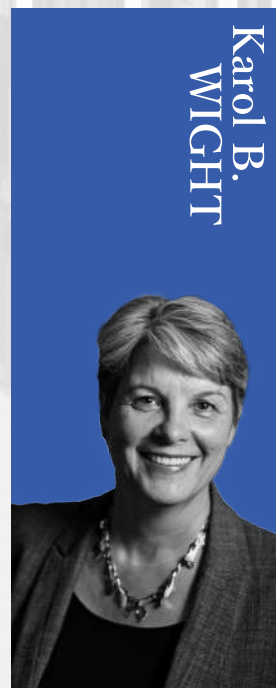
TSUCHIDA  
Ruriko

TAKAHASHI  
Yoshihiko

HONGO  
Jin

KUMA  
Kenjo

Karol B.  
WIGHT



## 登壇者 プロフィール

本イベントにご登壇いただく、富山市ガラス美術館にゆかりのある5名をご紹介します。



キャロル・B・ワイト  
コーニング・ガラス美術館長兼  
エグゼクティブ・ディレクター

世界最大級のガラスのコレクションを誇るコーニング・ガラス美術館（アメリカ・ニューヨーク州）において、2011年8月よりエグゼクティブ・ディレクターに就任。2015年1月より現職。古代ガラスの専門家として、古代美術とガラスに関する数多くの展覧会を企画・実施してきた。



隈 研吾  
株式会社隈研吾建築都市  
設計事務所代表

cDesignhouse

1954年生。1990年、隈研吾建築都市設計事務所設立。慶應義塾大学教授、東京大学教授を経て、現在、東京大学特別教授・名誉教授、日本芸術院会員。50を超える国々でプロジェクトが進行。自然と技術と人間の新しい関係を切り開く建築を提案。

\*より詳細な情報は「隈研吾建築都市設計事務所HP」をご覧ください。

<https://kkaa.co.jp/about/kengo-kuma/>



本郷 仁  
富山ガラス造形研究所長

1964年生。東北大学卒業後、東京ガラス工芸研究所で学び、富山ガラス造形研究所創設時より教育に携わる。以来同研究所で教えるとともに、国内外でワークショップ、レクチャーを行い後進を指導。現在は同研究所所長としてガラス芸術の発展と次世代の人材育成に力を注いでいる。



高橋 禎彦  
富山ガラス工房館長

1958年生。ガラス造形作家。1984年、ドイツ・バイエルン州ミュンヘン市で初個展を開催。1985年、神奈川県相模原市に工房を開設。2021年、富山市ガラス美術館にて「高橋禎彦 playtime」展を開催。2023年、富山市ガラス美術館での連携展「Toyama Glass×・・・」展で、工房作家と協働制作した作品を発表。2025年5月より富山ガラス工房館長に就任。



土田 ルリ子  
富山市ガラス美術館長

1967年生。1992年慶応義塾大学大学院文学研究科哲学専攻美学美術史分野修了。1992年からサントリー美術館勤務。2010～2020年3月まで同館学芸副部長。2020年4月より富山市ガラス美術館副館長。2022年4月より現職。エミール・ガレや薩摩切子など、ガラスにまつわる展覧会企画多数。



富山市ガラス美術館  
富山市西町5番1号 TOYAMA キラリ内  
TEL: 076-461-3100 Email: [bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp](mailto:bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp)

